

一般質問 代表質疑

(決算審査特別委員会)



議会中継アクセス
QRコード



「第3回定例会初日 本会議場」

一般質問は議員が市の行財政運営やまちの将来展望について質問し、行政機能をチェック確認するために行うものです。

第3回定例会の一般質問は10名の議員が、また決算審査特別委員会（会派代表質疑）では5名の委員が、市の行財政や施策の評価・成果に関し、さまざまな視点から質問を行いました。

一般質問は5～8ページ、代表質疑は9～13ページに要約を記載しています。詳細は市のホームページや図書館でも閲覧いただけます。

全国都市緑化北海道フェアについて



自民党 恵義会 宮 利 徳 議員

問 全国都市緑化北海道フェアの目的は、都市緑化意識の高揚、緑化に関する知識の普及や緑豊かな都市づくりを寄与することですが、それを恵庭市が招致し、開催する狙いや目的について伺います。

答 緑化フェアの開催は、恵庭の花のまちづくりの一つの集大成になるものと考え、恵庭市総合戦略に位置づけられた施策です。「恵庭市の認知度の向上」や「関係人口の拡大」「経済波及効果の拡大」などを目的とし、招致することとしたものです。

問 住民説明会では駐車場の確保が課題であるとのことですが、今後計画を進める上で、駐車場以外の周辺地域のこともしっかり想定し、取り組んでいただきたいと思えます。

答 緑化フェアにおける内容の検討の進捗により、今後も住民の方々への説明会

等を行う予定としており、こうした機会を捉えて適切に対応して参りたいと考えています。

問 この緑化フェアを成功させることで花のまちづくりに携わってきた方だけでなく、あまり興味がなかった方々にも、花のまちが誇りになり、自慢できるようなってもらうことが、フェアの一つの大事な効果と考えますが、ご所見を伺います。

答 このフェアを機会として、これまで花に関心なかった市民の方々も、まさに恵庭は花のまちと再認識し、花のまちを誇りに思えるようになり、そして緑化フェアのあとでも続いていくようなことができるフェアにしたいと考えています。



全国都市緑化北海道フェア会場「はなふる」

その他の質問項目
・新小・中学校学習指導要領等



自民党 恵義会
南出 典彦 議員

移住定住施策について

問 新型コロナウイルスの影響によるテレワークの社会的認知度が高まる中、あらゆる分野で感染予防と両立する効率的な経済活動が掲げられています。

答 美しい田園環境や交通アクセスの整った恵庭市において、サテライトオフィスなどのコロナ後を見据えた新たな企業誘致の可能性について伺います。

答 本市は災害が少なく、交通アクセスの優位性がある一方で、現状は引き合いや紹介できる物件も数少ないことから、今後状況の把握に努めながら、様々な可能性について見極めて参りたいと考えています。

問 業務系の企業誘致では、ITなど特定分野の機能や本社機能が移転することになります。

その他の質問項目



合同移住相談会 (2019年10月)

・ごみ処理の体制

性が高くなると思われますが、取り組みについて伺います。

答 今後は企業向けに、従業者の住宅情報や市内の生活情報など、誘致企業の従業員向けの移住定住情報を企業誘致と連携し、提供できるように検討を進めて参りたいと考えています。

問 現在、策定中の都市計画マスタープランにおいて、今後の新たなまちづくりの可能性として、これら業務系企業誘致の促進を検討すべきと考えますが、ご所見を伺います。

答 市としては、コロナ禍後の社会に向けた企業の新たな動きやニーズを的確に把握し、恵庭の企業誘致や移住定住施策など、まちづくりに活かせるよう今後検討して参ります。



自民党 恵義会
岩井 利海 議員

企業誘致しやすい環境の整備について

問 企業誘致に向けた新たな用地確保の考え方について伺います。

答 企業へのアンケート調査等により、売却意向の有無について毎年確認を行っています。近年は企業進出により未利用地が減少している状況ですが、今後も引き続き、きめ細かな情報提供や売却意向のある用地の紹介斡旋に努めて参ります。

問 近年、用地を購入した企業が生産を開始し、市の製造出荷額が更に伸びる可能性もあります。交通の利便性など地理的な要素も含め今後とも全国から企業誘致の求めがあると思われ

ます。件数は多くなくとも一定の大きさの用地を準備しておくべきと考えますが、ご所見を伺います。

答 現状では、まとまった大きな用地を確保することは困難と考えており、将来を見通した中で工業団地造

成の必要性なども含め、慎重に見極めて参りたいと考えています。

問 次期都市計画マスタープランの検討から外れた場合、その次は10年後です。それから造成しても15年程度はかかると思います。

答 現在、売却の可能性は約1畝の土地が4か所です。ある程度の大きさの用地は必要と考えますが、ご所見を伺います。

問 改訂する都市計画マスタープランには、次の時代を見据えた企業誘致の環境づくりに向け、長期的視点で新たな土地利用の可能性

があるのかといったことも考えながら、具体的な位置づけも含めて、検討を行って参りたいと考えています。



戸磯南工業団地 (2019年完売)

・市民を災害・感染症から守る計画、恵庭市の農業の在り方



自由民主党 清和会
石井 美季 議員

市の文化・芸術の発展について

問 芸術文化は、人の心を潤し明日への活力を生み出す源として、その役割は非常に重要と考えます。

答 文化芸術振興の意義は、「知性を高めること」、「かおりゆたかな文化のまちをつくること」で、生涯学習の大事な事業として、文化芸術活動の振興を推進したいと考えています。

問 アートマネジメント人材が活躍するには、基本方針とそれを評価する基準・指針が必要です。

答 国や北海道では既に基本方針がありますが、市にはまだありません。是非、基本方針を策定していただきたいと思いが、ご所見を伺います。

問 市では現在、第5期生涯学習基本計画の策定に着手しており、本計画において、これまでの文化芸術に関する基本目標を見直し、

更に振興を促し、かおり高い文化の向上に努めたいと考えています。

問 独立した芸術文化振興の基本方針の策定のため、専門のアートマネジメント人材を配置し、市外からも人を呼び込めるアートシーン、世界へ人が交流できるくらい芸術文化を発展させていきたいと思います。

答 人材配置については、市や指定管理者、つくり手と連携を図り、市外から訪れる方にも見ていただけるよう調査研究したいと考えています。

また展示会や作品展等は、市外から多くの方が訪れる施設での実施が可能であるかなど、関係各課と協議しながら検討して参りたいと思います。



文化芸術の拠点施設「市民会館」

・新しい学校教育の考え方



自由民主党清和会
長谷 文子 議員

高齢者がいきいきと元気に暮らせるまちづくりについて

問 市では、70歳からの健康づくりを市民に意識してもらえよう取り組みを行っています。昨年度の実績や効果について伺います。

答 昨年度は、1,111人にチェック表を送付し、867人から返信があり、うち介入が必要と判断した449人に対し、保健指導を実施しました。効果は、地域ふれあいサロンの紹介や生活習慣病の改善アドバイス、早期の医療機関への受診勧奨によりフレイル状態への予防につながったところです。

問 市の高齢者個別対応は、70歳、75歳、77歳だけとのことです。保健と介護予防の一体的モデル事業の目的は、フレイル予防に尽きるものと認識しています。是非70歳以上への対応を1歳刻みで毎年実施していただきたいと思いますが、ご所見を伺います。

答 今年度より開始する保健と介護予防の一体的実施事業において、健康診査や医療機関の受診歴をもとに、疾病の重症化予防や低栄養防止を行うとともに介護予防の場となる健康サロン等では健康教育や健康相談を保健医療の視点から支援して参ります。

問 市老連の各種事業は介護予防にも成果があると思えますが、新型コロナ禍の影響で独自事業が今年度中止となり、代替え事業などを恵老連と一緒に考えているのか伺います。

答 9月から老人クラブ連合会魅力アップ事業として、会員老人クラブ間で歩いた時間や歩数を集計し、記念品をプレゼントする独自事業を開始しました。



高齢者健康づくり講座（栄養相談）

その他の質問項目
・ 女性管理職の現状と今後、恵庭市の花「すずらん」



自由民主党清和会
早坂 貴 議員

松園線の交通安全対策について

問 松園線の交通安全対策に関しては、花の拠点も整備され、更に賑わうということになると、交通量も増え非常に心配しているところ。清和会でも信号機及び横断歩道の設置要望をしていますが、進捗及び調整の状況について伺います。

答 信号機の新設は大変難しいことから、現在市内に設置されている信号機のうち利用頻度の少ないものを移設することで千歳警察署と協議を進めています。移設予定の信号機が設置されている町内会から移設への理解が得られたことから、北海道公安委員会からも移設が可能と回答を得ております。

問 そこで具体的にどの位置に設置されるのか、地元から要望等も出ていると思えますが、現在どのような形で検討されているのか伺います。

答 現在、横断している箇所は小学校までの間に歩道が無いということや中学校への通学経路を考慮し、団地中央通が接続する丁字路交差点に設置することとして千歳警察署と協議中であります。

問 地域の皆さんにご理解いただきながら早期設置に向け進めてほしいと思いますが、具体的な設置時期について伺います。

答 設置時期に関しては、早期の信号機の移設について千歳警察署を通じて北海道公安委員会に要望しているところですが、予算の関係から調整中との説明を受けております。市としては引き続き早期設置に向けて、要望を続けて参りたいと考えています。



信号機移設場所（団地中央通丁字路交差点）

その他の質問項目
・ 新型コロナウイルスに伴う経済支援策、第6次行政改革推進計画の成果と課題



公明党議員団
生本 富士代 議員

軽度・中等度難聴児に対する補聴器購入費助成制度の拡充について

問 身体障がい者手帳の交付対象となっていない、18歳未満の軽度・中等度難聴児に対する補聴器購入費助成制度の拡充について伺います。

答 当事業は、両耳の聴力レベルが30デシベル以上で、身体障がい者手帳の交付対象とならない18歳未満の軽度・中等度の難聴児に対し、補聴器購入費の一部を助成する事業です。また当事業は、北海道で示す基準に準拠しており、制度拡充は現在予定していませんが、各市の状況を参考に調査研究して参ります。

問 市内には片耳の難聴児の方が数名程おります。児童の聴覚障がいには言葉の発達や学習困難にもつながるため、医師が必要と認められた場合には、片耳が難聴であれば助成の対象にすべきと思えます。ご所見を伺います。

答 現在、片耳の難聴による学びの阻害に關した話はありませんが、今後詳しく教育委員会と連携し、調査して参りたいと思えます。

問 音声を無線で送受信するFM受信機、オーディオチューン及びFMワイヤレスマイク等、FM補聴システムの対象拡大について伺います。

答 FM補聴システムは、音を電波に乗せ子ども補聴器に直接送信するものですが、スイッチの切り替えやチャンネル設定操作も必要となり、周囲の方々の理解と協力が不可欠と考えています。このため拡大の考えは、現時点ではありませんが、他市の対象の情報もあるため、FM補聴システムの効果や必要性、近隣市の状況を調査研究して参りたいと考えています。



補聴器をつけた子どものイラスト

その他の質問項目
・ 福祉相談支援体制の充実、視覚障がい者の外出支援



公明党議員団 緑議員
松島

市政等の情報の充実に ついて

問 市政等の情報や観光、防災等の情報発信の充実として、SNSによる情報発信の拡充について伺います。

答 市政情報の発信は、広報にわやホームページ、メール配信、フェイスブック及びインスタグラム等を活用しています。

今後は、どの発信媒体が市民への周知方法として有効か、調査・研究して参りたいと考えます。

問 防災情報や災害情報を発信する場合、LINEアプリのプッシュ通知は、市民へリアルタイムで届けやすいと思います。災害画像や位置情報が速やかに把握でき利便性も期待でき、市民の皆さんも安心できるのではないかと思います。ご所見を伺います。

答 現在、市では緊急情報や防災情報について、メール配信サービスを使っています。今後、先進自治体の

利用状況などについても研究し、庁内で検討して参りたいと考えます。

問 市民が求める情報収集の仕方は、気軽にいつでも知りたい時に知ることができるとは思います。

市として、市民の皆さんへの情報提供への拡大として、LINEの導入をしていただき、更にユーチューブ、ツイッター等の導入も進めていただきたいと思います。ご所見を伺います。

答 今後も広報誌は、市民にしつかり分かりやすい作成を目指すとともに、フェイスブック、インスタグラムも一層の内容の充実に努めて参ります。また、LINE、ユーチューブ、ツイッターも庁内で協議を進めて参りたいと考えます。



市政情報の総合担当窓口（広報課）

その他の質問項目

・窓口での市民負担の軽減、児童生徒への安心安全



民主・春風の会 明議員
澁谷

防災行政について

問 近年、豪雨災害が相次いで発生しています。複数の河川が流れる本市も、大雨による洪水災害は最も備えるべき災害と考えます。

防災ガイドブックに最大想定規模の浸水想定区域図を掲載すること、計画規模の浸水想定区域図は掲載するのかわいいます。

答 今年度、更新予定の防災ガイドブックには、これまで掲載している百年に一度の大雨を想定した計画規模の浸水想定区域図と、その後新たに公表された千年に一度の大雨を想定した最大浸水想定区域図を掲載する予定です。

問 現浸水想定区域図で避難所を指定していますが、新たな最大規模の浸水想定区域図により使用不可となる避難所はあるのか。また、その場合、どのように市民周知していくのかわいいます。

答 現在、収容避難所に46か所の施設を指定していますが、現行の計画規模の浸水想定から使用不可としている収容避難所が7か所あります。

新たな防災ガイドブックでは、収容避難所の一覧表において、計画規模と最大規模の浸水想定とを区分し、分かるように掲載したいと考えています。

問 来年度、避難勧告が廃止され、避難指示に一本化された場合、市民皆さんへの今後の周知方法についてご所見を伺います。

答 変更は、重要な防災行政の改正となることから、ガイドブックへの掲載を工夫するとともに改正された次第、広報誌への掲載などを通して、市民周知を図って参りたいと考えています。



市内交差点の浸水（2014年9月）

問 学芸会や文化祭など、今後の学校行事では、例えば学年ごとの入れ替えなども出来ると思いますが、保護者にどういった形で見ていただくことを検討されているか伺います。

答 学芸会等の行事は、合唱や劇、器楽演奏等で声を出したり、笛を吹いたり、感染拡大の恐れのあるもの



市民と歩む会 大議員
柏野

学校の新しい生活様式 について

問 授業時数の確保や準備に制約がある中、学校ごとに密を避ける対策などに工夫をされてきたところで、改めて学校行事の教育的意義と保護者参観の必要性について伺います。

答 教育的意義は、学校行事を通して望ましい人間関係を形成し、公共の精神を養い、自主的、実践的な態度を育てるとともに、保護者参観は、学校教育への理解や関心を深め、児童生徒の努力や成長を見ていただく機会として、大切であると考えています。

が含まれる発表が多いことから、保護者の体育館での参観は今のところ考えておりません。

問 最高学年で子どもたちの姿が見られず残念に思っている方もいると思います。市で場所やバスを確保し、見てもらう機会をつくっていただけないものか再度お伺いします。

答 今年度、市民会館等を使って一斉にやることは、困難だと思っています。新型コロナウイルスの感染対策は、今年限りでないと思えます。

次年度に向け、どのような形での実施が、子どもたちの発表を認められるか、感染拡大防止を徹底しながらしつかり検討して参りたいと考えています。



学芸会等の発表会場（学校体育館）

その他の質問項目

・高等教育機関の誘致にかかる助成、新型コロナに対応した医療・福祉の支援